

極早生の炭疽病抵抗性イチゴ新品種 「かおり野」



「かおり野」の果実



「かおり野」の株

育成の背景

イチゴ炭疽病は深刻な被害を引き起こす重大病害であり、炭疽病対策はイチゴ栽培における最重要課題の1つです。主に化学農薬による防除が行われていますが、効果が安定せず、この病気の根本的な対策には抵抗性品種の利用が必要です。そこで、三重県農業研究所では炭疽病抵抗性の新品種「かおり野」を育成し、平成20年2月に品種登録出願を行いました。

特 性

- ・イチゴの最重要病害「炭疽病」に対して抵抗性を持っています。
- ・収穫開始時期が非常に早く、11月中旬から収穫が可能です。
- ・果実は大きく、収量性に優れています。
- ・食味は、酸が少なくさわやかな味で、上品な香りが特徴です。

振興方針

栽培マニュアルおよび出荷規格を作成し、平成21年度から全県的に普及定着を図ります。また、県外での栽培を認めることにより、「かおり野」の生産拡大および三重県のPRを行います。